作成日： 1999 年 7 月 14 日
改訂日(V.8)： 2013 年 2 月 4 日

製品安全データシート

１．製品及び会社情報

製品名： フジグラス粒剤２５

会社名： 日本農薬株式会社
住　所： 〒104-8386 東京都中央区京橋 1 丁目 19 番 8 号 京橋ＯＭビル
担当部門： 環境安全部
TEL. 03-6361-1426, FAX. 03-6361-1451
e-mail: kankyouanzen@nichino.co.jp
緊急連絡電話番号：(平日) 03-6361-1426 (環境安全部)
(休日、夜間) 04-2929-8961 (ＡＬＳＯＫ)

用途及び使用上の制限：農薬(除草剤)、農薬登録以外の使用は不可
ＭＳＤＳ番号： ５２８－４９(Ｍ３６９)

２．危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

物理化学的危険性	自然発火性固体	区分外
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分外
	急性毒性(経皮)	区分外
	皮膚腐食性･刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷･眼刺激性	区分外
	皮膚感作性	区分外
	生殖毒性	区分２
	発がん性	区分１
	特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分１(呼吸器系)
	特定標的臓器毒性(反復暴露)	区分１(呼吸器系、腎臓)
環境に対する有害性	水生環境有害性(急性)	区分２
	水生環境有害性(慢性)	区分１

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

ＧＨＳラベル要素

絵表示

注意喚起語　危険

危険有害性情報
生殖能または胎児への悪影響の恐れの疑い
発がんの恐れ
臓器(呼吸器系)の障害
長期にわたるまたは反復暴露による臓器(呼吸器系、腎臓)の障害
水生生物に毒性
長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き

【予防策】
- ■ 使用前に取扱説明書を入手すること。
- ■ 全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
- ■ 指定された個人用保護具を使用すること。

- ■ 粉塵、ガスを吸入しないこと。
- ■ 取扱いの際には飲食または喫煙をしないこと。
- ■ 取扱い後はよく手を洗うこと。
- ■ 必要な時以外は環境への放出を避けること。

【対応】

- ■ 暴露またはその懸念がある場合は、医師の診断を受けること。
- ■ 気分が悪いときは医師の診断を受けること。
- ■ 漏出物を回収すること。

【保管】

- ■ 容器を密閉して、涼しく換気のよいところで施錠して保管すること。

【廃棄】

- ■ 内容物、容器を法、条例等に従って安全に処理する。または産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

その他の危険有害性：特に無し。

３．組成，成分情報

単一製品･混合物の区分：混合物

有効成分化学名(一般名)：

1) Ｓベンジル＝1,2 ジメチルプロピル(エチル)チオカルバマート（一般名 エスプロカルブ)
2) メチル＝α -(4,6 - ジメトキシピリミジン - 2 - イルカルバモイルスルファモイル) - o - トルアート（一般名 ベンスルフロンメチル)

成分及び含有量：

成　分	含有量	CAS No.	安衛法 No.	化審法 No.
エスプロカルブ	7.0%	85785-20-2	－	－
ベンスルフロンメチル	0.25%	83055-99-6	8-(2)-1338	－
〈その他〉				
シリカ(非晶質、結晶質)	43.1%以下	112926-00-8 112945-52-5、7631-86-9、14808-60-7	既存物質 安衛法通知対象物	(1)-548
鉱物質微粉等	残	－	－	－

４．応急措置

眼に入った場合：直ちに清浄な流水で数分間洗浄する。眼球、まぶたの隅々まで水がよく行きわたるように洗う。コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合ははずし、その後も洗浄を続ける。医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：汚染された着衣、靴等を速やかに脱がせ、付着部を多量の水と石鹸でよく洗浄する。体質によってはかぶれることがあるので、異常が現れた場合には、医師の診断を受ける。

吸入した場合：被災者を速やかに空気の新鮮な場所に移す。異常が現れた場合には、直ちに医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合：水で口の中を洗い、カップ１～２杯の水を与える。医師の診断を受ける。意識の無い時には口から何も与えてはならない。

５．火災時の措置

消火時の注意： 当該物質は不燃性。消火活動には適切な保護具を着用する。燃焼または高温により発生するガス、煙、ミストを吸い込まないように注意する。消火水が下水や河川に流れ込まないよう適切な処置をとる。

消火剤： 水、粉末、泡沫、炭酸ガス
使ってはならない消火剤：情報無し。

６．漏出時の措置

付近の人を風上に避難させ、漏出現場への立ち入りを禁止する。適切な保護具(保護メガネ、保護マスク等)を着用して、眼や皮膚に触れたり、粉塵を吸い込まないようにする。漏出物が飛散しない様に集め、密封できる容器に回収する。その後、汚染された場所を水で洗う。漏出物や洗浄水等が河川、下水等に流出し、環境へ影響を与えないように措置する。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い： 局所排気装置を設置し、換気のよい場所で行う。適切な保護具を着用し、粉塵を吸い込んだり、眼、皮膚に触れないようにする。作業後は、すみやかに眼、手、顔を洗い、うがいをする。

保管： 換気のよい冷暗所に保管する。食物、飼料等と離し、無関係者、子供の手の届かないところに施錠して保管する。

８．暴露防止及び保護措置

設備対策： 局所排気装置を設ける。取扱い作業場の近くに洗眼、洗面、うがい、安全シャワー設備を設置する。

個人保護具： 状況に応じた適切な保護具を着用する。
保護マスク、保護メガネ、保護衣(長袖・長ズボン)、ゴム手袋
作業時に着用していた衣類等は他のものと分けて洗濯する。

９．物理的及び化学的性質

外観、臭気： 淡褐色細粒
比重： 1.08/20℃
pH： 9.0～11.0/20℃(1%水懸濁液)
引火点： データ無し。
自然発火性： 常温で空気と接触しても自然発火しない。

１０．安定性及び反応性

安定性： 通常の条件下では安定。
危険な反応： 知られていない。
有害な分解物： 燃焼すると有害なガス(CO、SOx、NOx 等)が発生する可能性がある。

１１．有害性情報

急性経口毒性： ラット LD_{50} 値(mg/kg) ♂,♀ >5000(死亡例及び中毒症状無し)
マウス LD_{50} 値(mg/kg) ♂,♀ >5000(死亡例及び中毒症状無し)
急性経皮毒性： ラット LD_{50} 値(mg/kg) ♂,♀ >2000(死亡例及び中毒症状無し)
皮膚刺激性： ウサギ 刺激性無し。
眼刺激性： ウサギ 刺激性無し。
皮膚感作性： モルモット 感作性無し。
生殖毒性： 区分２に分類されるエスプロカルブ原体を、カットオフ値の 3.0%以上含有することから区分２とした。毒性未知成分量は 92%。

発がん性：　区分１Ａに分類される結晶質シリカを、カットオフ値以上含有することから区分１とした。

特定標的臓器毒性(単回暴露)

区分１(呼吸器系)に分類される結晶質シリカを、カットオフ値以上含有することから区分１(呼吸器系)とした。

特定標的臓器毒性(反復暴露)

区分１(呼吸器系、腎臓)に分類される結晶質シリカを、カットオフ値以上含有することから区分１(呼吸器系、腎臓)とした。

なお区分２(血液系、肝臓、腎臓、骨髄)に分類されるエスプロカルブ原体を含有するが、含有量がカットオフ値の 10%未満であるため分類できない。

１２．環境影響情報

水生環境有害性(急性)：区分２

コイ	LC_{50} 値/96hr(mg/L)	30.0
オオミジンコ	EC_{50} 値/48hr(mg/L)	5.2
緑藻	EbC_{50} 値/0-72h(mg/L)	0.15
	ErC_{50} 値/24-48hr(mg/L)	1.22
	ErC_{50} 値/24-72hr(mg/L)	1.41

水生環境有害性(慢性)：区分１

慢性区分１に分類される成分含量から推定し、区分１とした。毒性未知成分量は 91.8%。

１３．廃棄上の注意

法、条例等に従って安全に処理する。または産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

空容器：内容物を使いきった後、適切に処理する。

１４．輸送上の注意

容器に異常の無いことを確かめ、転倒、落下しないように積載する。

１５．適用法令

農薬取締法

労働安全衛生法

通知対象物(法５７条の２)：シリカ(政令番号 312)

１６．その他の情報

参考文献：JIS Z 7252 2009，ＧＨＳに基づく化学物質等の分類方法

本データシートの記載内容は、この製品の取扱い時の安全性に関する参考情報であり、安全性や品質の保証をなすものではありません。また危険性、有害性の評価は、必ずしも充分ではありませんので、取扱いには充分注意を払って下さい。